

2008

JULY 7 vol. 24

東京成徳広報



平成21年4月経営学部開設予定の十条台キャンパス（認可申請中）



学校法人 東京成徳学園

C O N T E N T S

P 3	中期事業計画の策定にむけて 理事長 木内 秀俊
P 4	経営学部設置を文部科学省に申請、受理される 健康・スポーツ心理学科ってどんなもの 応用心理学部福祉心理学科長 教授 海保 博之
P 5	東京成徳短期大学が「第三者評価」の結果「適格」と認定されました 短期大学 金城 悟
P 6	学園の新人事 副学長 國分 康孝 学部長 日山 紀彦 学部長 市村 操一 学科長 小林 朋恵 学科長 永井 聖二 科長 樋口 信夫 園長 加々美 健一
P 8	ひと「活躍する卒業生」 北京五輪 水泳代表 伊藤 華英
P 9	応用心理学部発足記念講演会・大学説明会
P 10	社会との交流
P 11	大学進学実績 高等学校・深谷高等学校
P 12	就職情報 八千代キャンパス就職課 十条台キャンパス学生生活課
P 13	TOPICS 大学院 大学人文学部 大学子ども学部 短期大学 中高一貫部 高等部 深谷高等学校 幼稚園 第二幼稚園
P 20	クラブ活動の成果
P 21	学園人事異動 （採用・昇任・異動・退職）
P 22	学園役員・学園後援会総会・学園平成19年度決算
P 23	訃報
P 24	学園各校のお問い合わせ先



TOKYO SEITOKU

学園のシンボルマーク
「三徳」と「三徳」を
フルイの五本の柱は、五つの教育目標を
三徳（徳）と「三徳」を
イエローの三本の柱は、学生・生徒と
教職員、関係者を象徴しています。
そして、八つの柱が一体となり、
東京成徳と学園に働く人々の
ヒューマンパワーを
作り上げる姿を表現しています。



中期事業計画の 策定にむけて

理事長 木内 秀俊

少子高齢化・規制緩和・グローバル化などの環境の下で学生・生徒の確保を巡る学校間の競争は、益々激しさを増しております。先日ある大学法人の八十周年の記念式典に参加したところ、大学学長の記念講演の中で、「大学（学校）は、石炭産業以上の不況産業である」とのお話がありました。今では遠い昔の話になりましたが、戦後石炭産業は四大傾斜産業の一つとして活況を謳歌しておりました。ところが石炭から石油へというエネルギー革命の中で昭和三十年後半の三井三池炭鉱の争議などを転換点として石油にエネルギー産業の首座を奪われることになりました。その後は補助金を得ながら細々と存続していましたが、順次閉山していったのはご承知のとおりです。結局のところ石炭会社は、当初多くの優秀な人材を抱え資本力もありましたが、固体か

ら流体へというエネルギー革命の大きな枠組みの変化に十分適応することができず、組織として石油への進出が為されなかったのです。記念講演された学長のお話の趣旨は、むしろ補助金付けとなつてからの石炭産業に関連して、私学が根本である自主自立の精神（マインド）をもっと取り戻すことの重要性について訴えたかと思えます。

ところで私学の自主自立の基礎は、私学としての創造的な教育及び研究とそれを裏付ける健全な財政基盤であると思えます。そのどちらが欠けても私学として社会に十分な貢献が継続できないものと考えております。現在学園は、中等教育（中学・高校）における安定化・充実化に一定の進展が見られ、学習・クラブ活動の両面で今後実績が上がっていくことが見込まれます。

一方高等教育（大学院・大学・短期大学）においては、大学院修士課程卒業者が臨床心理士試験に高い合格率を示しているのを始め各学校において教育研究面で実績を上げつつあると思えます。しかしながら、残念なことに一部の部門は、激しい大学間競争の中で定員割れを起こしており、学園の高等教育全体としての対応が必要とされています。大きな方向としては、いたずらに入学定員の拡大に走らず、本学園に適した分野に学部を設置していき、規模として中堅の大学を当面目指して行きたいと考えています。また学園内の高校が進学校化するにつれ進路志望の多様化がみられ、何十年前の高校と短期大学に見られたような進学者の量的な結びつきは、最近比以前に比べ大分希薄になっていきます。そこで学園内の結びつきには、十分お互いに配慮した上で、高等教育においても競争的な環境の中で生き抜いていく力を十分身につけていく必要があると思えます。すでに平成二十一年四月を目前指して、応用心理学部に健康・スポーツ心理学科（千葉県八千代キャンパス、届出中）、経営学部現代

経営学科（東京都十条台キャンパス、申請中）を設置準備中であり、引き続き平成二十二年四月を目指して人文学部に観光文化学科（仮称）を加えるなどの学部のリニューアル構想が現在検討されています。さらに子ども学部も完成年度を過ぎ、今後更なる飛躍を果たして行きたいと思えます。

こうした学部・学科は、設置後四年で学生を社会へ送り出していきます。学園の財政面などの資源配分は、学園内各校幹部による部門合同会議でのアクションプランの提示後に、取捨選択の上理事会で決定しております。しかし現在の高等教育等の変革状況や環境などを踏まえて、より方向性を強めた計画の策定が必要とされていると考えられるところから、平成二十一年度を始期として平成二十五年度を終期とする五年間の中期事業計画を平成二十一年秋頃までを目指して策定していく所存です。

明るく活力のある教育環境・伸び伸びとした研究環境の整備と社会に有用な人材の供給は学園の基本的な責務であります。教職員一同一丸となって今後とも努力していきたいと思えます。どうぞ変わらぬご支援を宜しく願います。

「経営学部設置を文部科学省に申請、受理される」

五月三十日、文部科学省高等教育局で大学や学部の設置を担当する大学振興課大学設置室に対し、「東京成徳大学経営学部設置認可申請書」を提出し受理されました。また同日、同局私学部私学行政課に対し「学校法人東京成徳学園寄附行為変更認可申請書」を提出し、受理されました。今後は、文部科学省における審査を経て、本年十月末には「東京成徳大学経営学部」の設置が認可される予定です。認可され次第直ちに学生募集を開始し、来年四月には十条台キャンパスに経営学部の新入学生（入学定員一〇〇名）を迎え入れることとなります。既に十条台キャンパスには、新学部設置準備委員会が設置され、広報活動を含め設置・開学に向けた準備が始まっています。

学外からも期待

学外における準備も始まっています。例えば、企業実習です。経営学部では「インターンシップ」の授業を設け、三年次の夏休みに二週間の企業実習を行います。新しい経営学部を期待して、実習生の受け入れを表明する企業が既に二十四社決定しています。伸び盛りの中堅企業や、女性だけで起業した企業など、実習生の受け入れ

企業は多彩です。そのうち東京証券取引所一部市場上場企業は、(株)アイネット、(株)イオン、(株)イオンファンタジー、(株)オンワード樺山、(株)タカキユー、トランスコスモス(株)、電気化学工業(株)、野村證券(株)、ワタベウエディング(株)の九社です。

「人間」に力点を置く経営人材教育

経営学部は、「組織に入って組織と共に成長しよう」という学生が集まり学ぶところです。しかし、内向きの人が多くなれば組織は伸びません。会社や役所は、消費者や生活者と向き合い、働きかけることのできる人材を求めています。新しい経営学部は、経済や技術に加えて人間を知り、専門の知識や技術に加えて人間に働きかける力を持つ、人間性と実践力にあふれた経営人材養成を目指しています。そのため、第一線の経営者から話を聞いて学ぶ授業や、集客業やコンサルティング業といった特定の業界に絞り込んだ授業を設けるなど、現実に対応した学び方ができるカリキュラムを編成しています。と同時に、心理学を中心的な科目の一つと位置づけ、経営に関連する心理学の科目を多く配置しています。更に、専任教員十六名のうち教授就任予定の先生九名は、官

庁や企業、団体における実務経験を有しています。既に新学部に対して学外から熱い期待がみられるのも、教授就任予定の先生方の人脈によるものです。

経営学部では「大学に入学してから伸びたい」という男女の学生に入っていたきたいと考えています。入学者が大きく成長し、社会へ羽ばたくよう、クラス制や少

「健康・スポーツ心理学ってどんなもの」

平成二十一年四月応用心理学部に新設

●アスリートを養成する学科ではありません

五月十一日に今年度はじめてのオープンキャンパスがありました。五月十三日には、近隣の高校の先生方を対象にした応用心理学部の開設のお披露目と、現在、文部科学省に申請中の健康・スポーツ心理学の説明会がありました。そこで、高校生や先生からこんな質問をいただきました。

「自分はスポーツはあまり得意ではないのですが、こういう心理学に非常に興味があります」

「今、陸上競技の円盤投げをしています。でもそれはもう続ける気はありませんが、将来も、何かのスポーツの指導者くらいにはなりたい」

「豊かな農村地帯の高校。跡継ぎ子女が多い。大学でとりたてておもしろい学問をする気はない。大学生活

人数ゼミ、表現・コミュニケーションを基礎から学ぶカリキュラム、さらには三つの教育研究領域、六つの履修モデル等も用意する予定です。是非、新しい経営学部を期待し、応援してください。経営学部についてもっと詳しく知りたい方は、是非十条台事務局の入学課へお問い合わせください。

が楽しめて、将来、家業の片手間に地域の子どもたちにスポーツを教えられるスキルを学びたい」まさに、こういう諸君のために作った学科が、「健康・スポーツ心理学」なのです。

●心身ともに元気な学生を育てます

学科のスローガンの候補として、「心身一如」と「天空海闊」を考えています。これには、ともかく心身ともに元気な学生を育てたいとの気持ちも反映されています。昨今、日本の大学も社会も全般的に元気がありません。かろうじて、心身の病気になるないようにするだけで精一杯という感じです。

そんな大学、社会に一石を投じたという大それた気持ちで、「健康・スポーツ心理学」を発足させます。絶大な応援をお願いします。

東京成徳短期大学が「第三者評価」の結果「適格」と認定されました



東京成徳短期大学は、平成十九年度（財）短期大学基準協会による第三者評価の結果、適格と認定されました（平成二十年三月十九日付）。

1. 第三者評価とは

学校教育法の改正に則り、平成十六年度から大学や短期大学は教育研究、組織運営及び施設設備の総合的な状況について、文部科学大臣の認証を受けた者（認証評価機関）による評価（認証評価）を定期的に受けることになりました。第三者評価とは、文部科学大臣の認めた機関によって高等教育機関として適格かどうかを社会的に認定し、保証する制度です。

本学は短期大学設置基準が改正され自己点検・評価の努力義務が規定された平成三年以来、自己点検・評価を実施し、学長はじめ教職員一同が一丸となって教育・研究環境の改善に積極的に取り組んできました。

自己点検・評価の目的に沿って学内に規程を策定し、平成十七年に「東京成徳短期大学教育改善（自己点検・評価）委員会」という組織を設置しました。平成十九年に財団法人短期大学基準協会による「平成十九年度第三者評価」を受け、その結果、短期大学評価基準を充たしているとの評価をいただき、平成二十年三月十九日付で適格と認定されました。平成二十年五月十二日に（財）短期大学基準協会より「平成十九年度第三者評価適格認定証」が授与されました（写真参照）。

2. 評価結果の理由

（財）短期大学基準協会による「平成十九年度第三者評価機関別評価結果の事由」から「総評」を次に引用します。

「平成十八年六月二十六日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現および教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていると判断した。」

上記の判断に至った事由は、おおよそ次の通りである。大正十五年の

学園創立以来、建学の精神「成徳」を基に教育に取り組んできた。教授会が中心となって、教育目標の点検・明示の努力がなされ、その共有化については、意欲的に種々の方策が採られている。教育の内容については、各学科とも教育目的に即した授業科目が開設され、専任教員が適切に配置され、単位認定についても適正な評価が行われており、短期大学にふさわしいレベルを有していると認められる。「学生による授業評価アンケート」を毎年行い、現状の分析と今後への取組みにいかすための改善に努めている。教員組織は体制・機能ともに充実しており意欲的な教育活動がうかがえる。図書館は蔵書数・座席数・検索機能などにおいて必要な整備がなされており、随所に教育的配慮がなされ、展示会なども開催され一般にも公開されている。各学科それぞれに教育目標を達成するため、多くの努力が払われている。特に難しい資格取得への挑戦も行われており、実績も残している。退学率の減少にも配慮がなされ、充実した相談体制が敷かれている。学生支援については、入学前に履修モデルの説明や習得しておくべき課題を提示し、入学後の学習に役立つよう配慮している。学習以外の学生生活全般についても、環境設備の充実や教職員配置がされており、十分な支援が行われている。研究活動については、学内に研究グループを作り、文部科学省の大学教育高度化推進特

別経費に多数採択されており、教育改善を目指した研究に活発に取り組んでいる。研究活動やそれを支える条件整備は全体的に、適切になされている。社会的活動については、積極的なボランティア活動が展開されている。また「保育研修会」や公開講座、講演会、シンポジウムなどに地域住民も参加でき、地域を活性化する一助になっている点が評価される。

事務処理の規程なども整備され、効率化に関してもよく検討されている。改革・改善については、短期大学設置基準が改正され自己点検・評価の努力義務が規定された平成三年以来、自己点検・評価を実施している。これには全教職員がかかわり、規程・組織の整備をはじめ、自己点検・評価活動結果のフィードバックによる利用方法についても積極的な取り組みがみられる。」

3. 今後の取り組み

東京成徳短期大学は平成十九年度（財）短期大学基準協会による第三者評価の結果、適格と認定されました。このことは、本学の建学の精神である「成徳」すなわち「徳を成す人間の形成」が教育の場で活かされているとの評価が得られたことを意味するものと認識しています。

今後、自己点検・評価を継続し、本学の教育研究、組織運営及び施設設備の改革・改善に教職員一同真摯に取り組んでいく所存です。

私の気合いの入れどころ

大学副学長 國分康孝



むかしの日本の海軍には「甲板士官」という役割があった。艦内を歩き回って士気を鼓舞する役割である。つまり職場のモラルを保つために気合いを入れて歩く仕事である。

副学長という役割への私のイメージは甲板士官である。

さて問題は、何についての士気を鼓舞するかである。それは教育の二本柱についての士気である。教育の柱は大学も小中学校もおおむね同じであると私は思っている。曰く「**「教科教育（専門教育）」**と「**生徒・学生指導（人間教育）」**である。

教科教育について士気を鼓舞するのは「おもしろくて、ためになり、かつ学問的背景のある授業」の展開に支持的に対応することである。これが私のいう気合いencourageである。

教授会での学科報告や教務・FD・国際交流・入試広報など授業にかかわるいくつかの委員会の企画を見聞するたびにポジティブに反応するのが私の仕事だと思っている。

もうひとつは生徒指導に担当する「ふれあいのあるキャンパスづくり」に関する士気である。構造的グループエンカウンター、サークル活動、留学生懇親会、スポーツ大会、校内清掃活動などいくつかのプログラムを学生委員会を始め学生生活に関与する委員会が工夫しているが、大事なことはそれが建学の精神の具象化の営みであるということである。

木内秀俊学長は「有徳有為の人間育成」という建学の精神を「おおらかな心」と「素直な心」の育成と定義しておられる。これを私の専攻するカウンセリング心理学のことにばに翻訳すると前者は「他者受容（人の言動にはそれぞれ事情があるのだろうと理解する姿勢）」、後者は「自己開示（あるがままの自分を受け入れ、それを表現する勇氣）」となる。この「他者受容」と「自己開示」の二つが「ふれあいのあるキャンパスづくり」のコンセプトであると私は解している。

それゆえ、私の第二の気合いの入れどころは建学の精神を日常の教育活動に具象化するために、ことあるごとに徹をとはすencourageにある。

以上のような考えで私は副学長職をこなしたいと思っている。みなさまのご支援を期待するや切。

人文学部の大改革にむけて

大学人文学部長 日山紀彦



新米の人文学部長として、就任のあいさつおよび抱負に代えて、喫緊に対応を迫られている課題を申し述べさせていただきます。

御承知のように、全入時代を迎えた各大学は、個性的で魅力ある大学づくり・教育改革に苦慮しています。本学も例外ではありません。とりわけ人文学部は厳しい状況下にあります。早急な対応策を講じるべく人文学部改組検討委員会を設置され、非力ながら不肖、私が委員長を務めています。

抜本的な改革・改組に向けた基本案の骨子は、今の所、①特色ある観光文化学科（仮称）を新たに設立する、②現行の日本伝統文化学科と国際言語文化学科は、時代の要請、受験生の動向に合わせて大胆に教育目的・教育方法・カリキュラムを見直して再編していく、という構想を基本としたものになります。とりわけ国際言語文化学科の再編が課題です。

いうまでもなく、このような改革・改組はひとり人文学部だけでできるものではありません。大学全体、否、学園関係者全体の協力・支援が不可欠です。皆様方の御理解・御指導・御鞭撻の程よろしくお願い致します。

応用心理学部の発足

大学応用心理学部長 市村操一



開学以来、人文学部のなかにあった福祉心理学科と臨床心理学科が、本年度から応用心理学部を構成することになりました。近年の社会における心の問題の重要性の認識の高まりを受けて、また、いっそう科学化と応用的実践の度合いを深めている現代の心理学の発展に対応するために、心理学の新しい学部が構想されたのです。

この新しい応用心理学部をさらに充実させ、人間学に強いという本学のイメージをいっそう高めるために、健康・スポーツ心理学科の新設が計画され、このたび文部科学省の認可を得ることができました。この新学科では人間の心のポジティブな面、すなわち自尊心や、向上心や、寛容さや、共感や、共存や、希望や、愛や、ユーモアや、獨創性などの側面を強調しながら、健康とスポーツの問題を理論的にも、実践的にも扱っていく計画です。

福祉、臨床、健康・スポーツの心理学関係三学科がそろいますと、日本でも有数の完備された応用心理学部になるのではないのでしょうか。この新学部を充実させ、社会的な評価を高めるためには、三学科が柔軟に協力しあい、いくつかの研究プロジェクトが生まれ、日本に東京成徳大学あり、と情報を放つていくことが大切と考えます。

アクティブな学科をめざして

大学人文学部日本伝統文化学科長 小林朋恵



皆様こんにちは。川合先生のお話を受けて今年度から学科長をつとめることになりました。

どうぞ宜しくお願い致します。

私たちの学科の新しい試みをお知らせします。まず学科の全教員が担当する演習科目で夏休み中に一〜四日間のフィールドワークを行ない、体験して学ぶという学科の特色をいっそう深めます。次に伝統文化の実技科目を学んだことを認定する制度を作りました。八科目全部の単位を取得すると「伝統文化マイスター」に認定されます。このように日々新しくなってゆく学科のことを多くの方々に知って頂きたいと考え、「伝統文化★資料室」というブログを立ち上げ、毎日更新しています。これらの活動は学科の教員の多様な能力と努力、学生達の協力によって成り立っているもので、私の仕事は学科の全員が毎日楽しく学問と大学生活に打ち込めるように支えることだと考えております。ブログ、是非一度ご覧ください。学科のホームページからつながります。

学部教育の充実を目指して

大学子ども学部子ども学科長 永井聖二



大学は、冬の時代を迎えている。幼児教育や子どもビジネスの分野もその例外ではありえず、子ども学部の今後も、楽観は許されない。

とはいえ、危機は変革のチャンスでもあり、創意と工夫によっては、新たな展開を切り拓くことが可能である。

幸いにも、この学園には短期大学幼児教育科以来の伝統があるし、子ども学科には優れた、信頼できる専任教員がそろっている。教員の創意が十分に発揮され、それを学部教育の充実に結びつけることができるなら、今後のきびしい状況のなかでも、この学部が特色ある学部として社会に存在価値を主張することは十分に可能であろう。

高等教育の担い手として当然のことを着実に積み重ねるとともに、教員の力量を活かせる環境の実現に努めたい。それが、在学生や卒業生が誇りに思える学部、学科を目指すことにつながるなら、幸いこれに過ぎるものはない。浅学非才はいまでもないが、同僚諸氏のご協力とご叱正を得て、そのため微力を尽くしたいと考えている。

「成徳」の道を買ける人材育成を短

大言文化「ミニユニケーション科長 樋口信夫



言語文化コミユニケーション科は、観光・英語・日本文化を三本の学びの柱としています。

前身の文化国文専攻・英文専攻の時代から科に共通するキーワードは「言葉と教養」。今この三本には「実務能力」も加わり、四十三年の歴史の中で新しい歩み始めています。

「この学科に入学してきて本当に良かった」と卒業生全員に言ってもらえるよう、教員一同一丸となって科の改革に取り組んでまいります。その具体的な姿はホームページで紹介してまいります。ご指導をお願い致します。

それぞれの分野での深い知識と実務能力を身につけ、また各分野にまたがる幅広い教養と思考力を併せもつ人材を育成することを目標としております。さて、その根本はといえば、「正直な人」、「地道に努力を重ねる人」、「人の心を思いやる人」です。「成徳」の道を忘れずに貫いてまいります。科長としての重責に身に引き締まる思いでおります。せいぜい努力いたしますのでどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

子どもは未来の国からの留学生

第二幼稚園園長 加々美健一



今、私たちの目の前にいる子どもたちは、いづれ社会に出て、将来の日本や世界で活躍する人たちです。子どもたちは、未来の国で有用な人間として活躍するため、現在の社会に勉学に来ているのです。すなわち、子どもは未来の国からの留学生です。

科学技術の進歩や情報化の急速な進展、国際化・グローバル化、少子化など、変化の激しい中、十年先でさえ社会がどのようなになっているか予測の難しい時代です。ましてや、子どもたちの活躍する三、四十年先ともなるとなおさらです。

しかし、社会がどのように変わろうが、そこに生きる人間として変わらず持ち続けていなければならないものがあります。それは、何といっても「心豊かな人間性」です。

私は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う幼児期の教育に、本学建学の精神である「徳を成す」を基本にして、職務に専念してゆく所存です。どうぞよろしくお願ひいたします。

ひと

活躍する卒業生

祝北京五輪出場
伊藤華英さん壮行会

伊藤華英さんは一九九七年東京成徳大学中学校に入学、二〇〇四年同高等学校を卒業。高校在学中から世界選手権代表などで活躍。日本大学卒業後はトレーニングの拠点であったセントラルスポーツに入社。北京五輪を目指していました。本年四月十七日、日本選手権女子一〇〇m背泳決勝で見事日本新記録で優勝。宿願の五輪代表切符を獲得されました。北京五輪では一〇〇m、二〇〇mに出場される予定です。

これを祝い本校で盛大な壮行会が開催されました。



五月十八日、伊藤さんはこの日超過密スケジュールの中来校され、中高一貫部・別館高等部と二回の壮行会に出席。全校生徒が集い、後輩たちが「東京成徳の誇り」と先輩の快挙を讃え、精一杯応援しますと北京五輪での健闘を祈りました。

木内校長は「伊藤さんはおおらかな、やさしい性格で先生方や級友からみな愛されていた。そのやさしさのためか、アテネ五輪の選考会では後一步の所で残念だった。しかし素材は日本一だから、いつかは必ずと思っていた。五輪では相当な重圧がのしかかってくると思うが、あせらずに自分の泳ぎをしてもらいたい。」



皆で後押しするから頑張つて欲しい。」と激励。

伊藤華英さんは「今日みなさまから祝福され、激励の言葉をいただき嬉しく思っています。選考会の予選は好調でしたが、準決勝ではプレッシャーのためか、自分の泳ぎができませんでした。その夜コーチの鈴木先生から「この試合にお前はなにをにきているのか。遊びにきているのではない。アスリートとして生きるか死ぬか、覚悟を決めろ！」と叱声され私は目覚めました。一晩考えに考え、これ以上考えられないぐらいい考え、眠れませんでした。これだけ考えて五輪にいけなかったら仕方がないと気持ちが切り替わりました。四年間あきらめないで私のことを支援してくださった方々に申し訳ない。決勝でダメだったら生きて帰れないというぐらいの覚悟をしました。アテネオリンピックに行けなくてからの四年間は、気分は曇り空でした。」



今回のレースの決勝でゴールにタッチした時、目の前のモヤが明け視界がはつきり晴れ間になりました。感慨深い思いに浸りました。みなさんの中学生・高校生という時期は、今一番素晴らしい時期、沢山の可能性をもっています。夢を明確にし、目標を決めるときは自分でやりたいことを見つけ、それに一直線に向かつてください。難しいこと、苦しいことがあっても一度自分が決めた目標を達成した時は、見える世界がまったく違うと思います。決意をもって、夢・目標に向かってみなさんの可能性を最大限に発揮して頑張ってください。」と後輩を励まし「あとはヤルだけ！最高のパフォーマンスで、人生最高のレースをしたい！応援をよろしくお願いします。」と感謝の挨拶。

応援委員会団長の「がんばれ、がんばれ伊藤さん！」というエールに全校生徒が力強く唱和し、最高に盛り上がった壮行会でした。





伊藤華英選手出場予定
 (北京オリンピック大会オフィシャルサイトより抜粋)

八月十日(日) 一〇〇m背泳ぎ予選
 八月十一日(月) 同 準決勝
 八月十二日(火) 同 決勝
 八月十四日(木) 二〇〇m背泳ぎ予選
 八月十八日(土) 同 決勝

時間帯などの詳細は北京オリンピック大会オフィシャルサイトよりご確認ください。みなさまの絶大なるご声援をお願いいたします。



記念講演会第一部では國分康孝副学長が「私が応用心理学の師匠から学んだこと」と題し、基礎心理学と応用心理学の相違、精神分析の大槻憲二、フアーカー、エリス、ムスターカスなど日米の学者から学んだ豊富な事例を紹介され、「応用心理学は人生の指針になる心理学である」と結ばれました。

記念講演第二部では明治大学教授

**応用心理学部発足披露記念講演会
 大学説明会開催**

五月十三日(火) 八千代キャンパスにおいて本年四月より発足した応用心理学部の披露と文部科学省に届け出をした同学部健康・スポーツ心理学科の構想の紹介を兼ねて講演会と大学説明会が開かれました。開会前に臨床心理学科石崎教授による「構成的グループエンカウンター体験実習」が希望者を対象に行われました。

五月十三日(火) 八千代キャンパスにおいて本年四月より発足した応用心理学部の披露と文部科学省に届け出をした同学部健康・スポーツ心理学科の構想の紹介を兼ねて講演会と大学説明会が開かれました。開会前に臨床心理学科石崎教授による「構成的グループエンカウンター体験実習」が希望者を対象に行われました。

諸富先生は福岡で高校生の時、國分先生の著書を読まれ「ご自分の進路相談」の手紙を出されたところ、國分先生から便箋五枚のお返事をいただき「この先生だったら自分の進路が開かれる」と筑波大学に進学されたというエピソードも紹介されました。

大学説明会では申請中の健康・スポーツ心理学科長に就任予定の海保博之教授が新学科の構想について説明され、その後懇談・相談会と熱心な討議が続ぎ、盛会裏に終了致しました。



社会との交流

福祉超先進国に学ぶ。
二〇〇七年度研修旅行の成果。

応用心理学部福祉心理学科准教授 石田 祥代
二〇〇七年度のテーマは「福祉先進国で共生とコミュニケーションを考えろ!!!」で、事前事後学習も含め一年間を通じて研修を進めてきました。参加した学生は福祉心理学科・臨床心理学科の学生十五名で、研修旅行の引率は福祉心理学科の私と小野寺先生、臨床心理学科の飯田先生でした。



事前オリエンテーションは八回開催され、スウェーデンとマルメ市について、わが国の児童を取り巻く問題について、報告書づくりなどを行いました。そして、九月にはスウェーデン大使館を訪問し、「スウェーデンの国と人々」に関する講義を受けた後、スウェーデン料理店で会食し、二〇〇六年度参加者から情報が提供され、メンバー間の交流を深めました。

研修プログラムはウエルカムパーティーから始まり、スウェーデンの「社会と福祉」「共生とコミュニケーション」「高齢化社会」「児童福祉と青少年」の講義、保育所・青年自立支援施設・障害児もいる通常学校訪問、ルンド大学東アジア言語学部学生・マルメ市内高校生との交流のほか、マルメ市・ルンド市・コペンハーゲン市の自由散策なども盛り込まれ、ファイナルディナーでは修了証書授与式もありました。二〇〇七年度プログラムで初めて組み込まれたのは、北欧生まれの「タクトテイルタッチ」という感覚を刺激する療法の実習です。講義を聞いた後、二人一組になり相手の感覚を優しく刺激する実習を経験しました。高齢者ナースングホームに訪問した時には二回目の参加だった臨床心理学科佐藤由紀さんと高地亜季さんが昨年お話ししたおじいさんと再会するという感動の場面がありました。

マルメ教育大学では、本学学生が「日本における児童を取り巻く問題」

に関する発表を行い、同大学教授らとディスカッションする機会を持ちました。発表を行った臨床心理学科二年深井綾子さんは次のように話してくれました。

「私はスウェーデンの大学で発表するために、スウェーデンへ行く前、日本のいじめについて事前に色々調べました。研修に参加することがなければ、調べることはなかったと思います。実際、発表してみても、いじめという問題は日本だけで起きているわけではなく、世界共通の問題なのだと改めて実感しました。マルメ市では、非行癖のある少年とその家族に対して、市の心理士がアプローチを行っているそうです。そのような少年のことを否定せずに、親子関係を築くことが大切だと学びました。」

スウェーデンでは、高齢者福祉に関する講義を受け、高齢者ナースングホームへ見学に行きました。福祉心理学科二年花嶋七生さんにその感想を聞いてみました。

「現在スウェーデンでは、高齢者の居住形態は在宅が主流で特別住居施設は減少しています。高齢者が自分の家で介護が受けられるようにホームヘルプサービスが充実していました。同時に、自宅に住み続けるための技術的補助もありました。その一つとして、個人用安心アラーム装置があり、アラームが電話に通知され、そこから、介護者・近隣者・緊急サービスセンター、

可動アシスタントへとつながり、高齢者が一人で暮らしていても安心して生活することが出来ます。また、スウェーデンでは、福祉機器の無料での貸し出しも行っています。ホームヘルプサービスのための支払いは、個々に違い、支払いが難しい場合にはその状況に応じた支払いで良いそうです。講義と訪問を通して、高齢の方々がひとり暮らしをしても地域の人々と触れ合いながら暮らしていることに感銘を受けました。」

この研修を通して、スウェーデンの人々とコミュニケーションを積極的に図る学生たちの姿と学生同士の触れ合う様子が特に印象に残っています。スウェーデン語で講義や訪問のお礼を伝えていたのを見て、学生たちを誇りに思いました。



高等学校(東京)の進学実績

受験生の傾向・特徴

(四年制大学志向と受験先の多様化)

中高一貫部、高等部ともに共学が定着して、大学進学率が過去最高を示した。中高一貫部は七十七%、高等部は六十四%(内訳は進学コース五十一%、進学選抜コース七十一%、特別進学コース九十四%)となっており、高校全体としても六十七%であった。これは五年前に比べると約二〇%の増加である。大学進学率の上昇に伴い、短大・専門学校への進学率が低下した。(短大十一%、専門学校十五%)

また、進学先の多様化も進んでおり、今年は一四二大学に五八七名の合格者を出している。これも五年前と比較すると、大学数で一・五倍、合格数で一・八倍となる。前述の大学志向と相まって、短大の受験校も前年の十八短大から、今年は九短大へと減少した。

これらの傾向は今後も進むものと考えられる。

平成十九年度大学入試結果

■国立大学

東京工業大学・お茶の水女子大学・筑波大学・東京海洋大学・横浜国立大学など十三大学に二〇名が合格。

■難関私立大学

早慶上理に三十一名、GMARC日に五十七名、文系五大学(成蹊・成城・武蔵・明治学院・國學院)に二十五名、理系五大学(北里・東邦・芝浦工業・東京農業・武蔵工業)に二十六名が合格。

【2007年度合格実績(抜粋)】

東京工業大学	1	早稲田大学	8
筑波大学	2	慶応義塾大学	3
お茶の水女子大学	2	上智大学	2
横浜国立大学	1	東京理科大学	18
埼玉大学	3	明治大学	11
東京海洋大学	2	青山学院大学	6
山形大学	1	立教大学	13
埼玉県立大学	3	中央大学	14
防衛大学校	1	法政大学	11

深谷高等学校の進学実績

「生徒一人ひとりの将来に思いをいたし、その特性を伸ばす」

これを目指して六コース制をとり、大いなる成果を挙げた。

生徒を指導する基準は

- 一、目標をしっかりとつ
- 一、それに向かって全力を尽くす
- 一、友人と切磋琢磨する

この三つである。

常に、より「高み」を目指して励む、これが若者の姿であり、教育のありようもこれに尽きる。

六コース制の一層の充実に教職員心を一つにして指導にあたりたい。

平成十九年度大学入試結果

(大学名順不同)

■国公立大学 過去最高の

十九名が合格

筑波大学・千葉大学・横浜国立大学・首都大学東京・埼玉大学・群馬大学など十二大学に十九名が合格。

■難関私立大学へ

二十名以上が合格

早稲田大学・津田塾大学・明治大学・青山学院大学・立教大学・法政大学・日本女子大学へ二十名以上が合格。

■有名私立大学へ

五十名以上が合格

成蹊大学・成城大学・日本大学・東洋大学・駒澤大学・専修大学などへ五十名以上が合格。

就職状況

〔八千代キャンパス〕

就職課長 伊藤 盛嗣

「希望者全員の内定獲得を

目指す」

本年度の就職活動は、米国のサブプライムローン問題に端を発した内外金融機関の業績悪化や原油をはじめとする原材料価格の高騰など、景気に対する悪影響が懸念される中で幕開けとなりました。しかしながら団塊世代の大量定年退職などから企業の新卒学生に対する採用意欲は強く、大学生に対する求人倍率は二・一四倍と高水準を保っています。学生にとっては比較的順風の中での就職活動ですが、景気の先行きに対する不透明感は徐々に強まっており、就職活動の早期スタートと内定獲得まで諦めずに活動を継続することが例年にも増して重要になっています。就職戦線は大企業を中心とする第一ラウンドを終了し、中小企業を中心とする第二ラウンドが進行中です。秋からは福祉施設の採用も本格化します。就職課では希望者全員の内定獲得を目指して、学生に対する積極的な声かけと懇切丁寧な対応に努めています。

「キャリアアップ特別講座」

平成十九年度にスタートした「キャリアアップ特別講座」は、一年間順調に実施してきました。本年度も「日本語能力試験（二級）対策特別講座、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験直前対策特別講座、保育士試験対策特別講座、臨床心理学大学院進学対策特別講座、旅行業務取扱管理者国家試験対策特別講座、公務員試験対策特別講座」の六講座を開講します。入学式前日の四月四日に説明会を実施し、意欲溢れる多くの学生が参加して勉強を始めています。昨年度は、日本語一級合格十名・社会福祉士合格十名・精神保健福祉士合格五名・心理系大学院進学八名・旅行業務取扱管理者合格七名・公務員試験合格二名などの成果を得ることができましたが、本年度もさらに多くの学生が所期の目標を達成できるようサポートしていきたいと思えます。参加者の皆さん、栄冠を獲得するまで粘り強く頑張ってください。

〔十条台キャンパス〕

学生生活課長

満田 一夫

子ども学部の進路状況

三月に子ども学部の第一期生が卒業して社会に巣立って行きました。そしてこの四月からそれぞれの進路で活躍することを期待し、一期生の前途に幸多かれと祈念しております。さて子ども学部では発足当初より、一・二年のうちにはまず「子ども学」に関する基礎学力を身に付けることに専念させ、三年生になってから本格的に就職支援活動を開始しました。一期生の内定率は全体で九十七・一％という結果になりました。一般企業だけでは九十四・一％、就職九十八・五％です。

一般企業では、(株)ミキハウス、石川玩具(株)、日本トイザラス(株)など子ども関連企業をはじめ、郵便局(株)、郵便事業(株)、和光市役所やワタミ(株)（介護職）にも就職しております。

就職関連では、私立幼稚園・保育園をはじめ、公立幼稚園・保育園や公立小学校、施設にそれぞれ就職しました。

また進学を希望した学生が三名おり、その内の二名が国立の上越教育大学大学院に進学し、一名は本学の研究生として残りました。

短期大学の進路状況

本学では、一般就職、就職関係ともに教職員一丸となり、一年生後期から就職ガイダンスを行うと共に、学生一人ひとりに対してきめ細かく進路支援を行っています。また今年度も夏休み中にはビジネス能力検定三級、国内旅行業務取扱管理者、公務員試験対策講座などの夏期講座を実施します。

こうした支援の効果もあり、平成十九年度の就職状況は昨年度並みに好調に推移し、就職内定率は、言語文化コミュニケーション科では九十一％、ビジネス心理科では九十五％、幼児教育科では九十九％となりました。



〔鈴木美和氏による講演（人生・社会・キャリアを考える）〕

今年も
サマースクール開催

今年で第七回目を迎えるサマースクールは、去る六月九日にご逝去された杉原一昭元心理学研究科長が三十年以上にわたるサマースクールの経験をもとに、本学大学院に赴任された翌年の平成十四年から始められた企画です。

今年も杉原先生のご遺志を継ぎ、石崎一記教授を実行委員長として、八月七日（木）～十二日（火）の五泊六日の日程で、本学園研修施設「戸隠グリーン」で開催されます。期間中は「鱒のつかみ取り」、「花火大会」、「キャンプファイヤー」、「ハイキング」、「川遊び」、「コララス」、「山登り」など、楽しい有意義な行事が盛りだくさんです。

サマースクールの生みの親、杉原一昭先生は、この夏も戸隠の自然の中を歓声を上げながら元気に走りまわる子どもたちの姿を見守っておられることでしょう。



杉原先生に捧ぐ

修士課程二年 荒川 恵美子

私たちは、杉原研究室の最後のゼミ生となってしまいました。たった一年という短い間ではありましたが、先生のお人柄に触れ、学問の師として人生の師として、その生き様をしっかりと心に刻みました。先生からいただいた贈り物は沢山あり、思いの深さは、決して時間の長さだけではないのだという心から感じておりま

す。一年前、修論担当教員を決めるときに、恐る恐る先生の研究室に伺い、心よくご快諾いただきました。五人のゼミ生の内私以外はストレート合格者で、何度もチャレンジしてやっと合格した私はいつもお人柄に深く触れたような気がして、改めて学問の師・人生の師と

に伺い、心よくご快諾いただきまして信頼できる方だと確信しました。また、先生は本当に勉強熱心でいつも新しい分野の本を読んだりしゃべり、「この本はとて面白いですよ。」と勧めて下さるのですが、私には難し過ぎて途中で挫折してしまうこともありま

した。先生が最後に院にいらした五月七日、私は学外実習で先生にお会いすることはできませんでした。自宅のパソコンに先生から「パンチのある論文にしましょう」とのメッセージが届いていました。その三日後の中間発表会では、体調不良とのことで先生は欠席されました。先生がいらない寂しさをゼミ生皆で味わいながら発表しました。充実感はなくただ先生のお体のことが心配でした。その後、先

平成十九年度心理・教育相談センター活動報告

大学院

本学大学院の心理・教育相談センターは、本学教員と大学院生により構成、運営されています。本センターは広く地域に開かれており、様々な問題や悩みを抱える方の相談に応じています。相談内容は多様ですが、神経症症状、対人関係や教育問題に関する相談事例が多くなっています。八年目を迎えた平成十九年度には、新規の相談が七十四件、総面接実施数も一三七〇件と年々増加しています。月別の相談件数は九十一～一四〇程度となっています。

また、センターに相談に来られた経緯としては諸機関からの紹介のほか、インターネットなどの情報をもとに訪れる事例が多くなっています。また、親子の並行面接が多数行われているのも当センターの特徴となっています。

センターには、五つの相談室と各種遊具を備えた大小二つのプレイルーム、観察室、受付があります。これからもより地域に開かれ、親しまれるセンターとして発展するよう努めてまいります。

ご葬儀でお手伝いなどをさせて頂いたにも関わらず、今尚先生が亡くなられた気がしなくて、研究室のお花を取り換えながら、先生がいつも座っていたソファの向かい側に座り、先生にいろいろ

なことを話しかけております。先生が「それはねえ・・・」と静かに答えてくださるような気がいたします。先生、修論は必ず完成させますので、どうぞ見守っていてください。合掌
(原文一部割愛・改訂。文責編集者)

臨床心理士試験に修了生
二十六名が晴れて合格！

大学院

平成十九年度（財）日本臨床心理士資格認定協会が実施した臨床心理士資格認定試験において、本大学院修了生が挑戦し、堂々二十六名が合格を果たしました。この内、平成十八年度修了生は二十三名受験、二十一名合格、全国平均の合格率が七十%前後のところ合格率九十一%の見事な好成绩でした。臨床心理士の資格を得た修了生は、先輩に続き、医療機関、教育現場等での活躍が大いに期待されています。

本大学院は同財団法人から臨床心理士受験資格一種指定校の認定を受けているため、大学院修了後実習経験を経ないで臨床心理士の受験資格が与えられる特典があります。

人文学部

日本伝統文化学科ブログ、「伝統文化★資料室」スタート

教授 青柳 隆志

日本伝統文化学科では、学科の特徴や先生方の素顔、ふだん行われている授業のようすなどを、広く皆さんに知っていただくために、昨年度から新設した「伝統文化資料室」を拠点として、学生と先生が協力し合

って書くオリジナルブログ「伝統文化★資料室」を四月から開設して、毎日更新しております。おかげさまで、

現在では一日一〇〇〇回更新されています。URLは、<http://blog.goo.ne.jp/seitokudento>です。



東京成徳大学
日本伝統文化マイスター
The Master of Japanese Traditional Culture

めざせ！★★★★
「伝統文化の達人」

東京成徳大学日本伝統文化学科では、伝統文化を学びたいと夢見る在校生の皆さんの要望にこたえて、「日本伝統文化マイスター」の資格を授けました。日本の伝統文化を実際に体験できる、八つの授業を受講してください。一つの授業を修了すると★一つもらえます。八つの★を全て集めたら、その日からあなたは、「日本伝統文化マイスター」です！

①着物・装束の着付け（「伝統文化（装束）」授業）
②茶道の基本（講師高「伝統文化（茶道）」授業）
③能楽の基本（池坊流「伝統文化（能楽）」授業）
④書道の基本（「書道・書道史Ⅰ」授業）
⑤墨・三味線の基本（「伝統文化（歌舞伎）」授業）
⑥舞の基本（「伝統文化（歌舞伎）」授業）
⑦和歌の披露（講師小島流「日本文化研究Ⅰ」授業）
⑧能楽の基本（「日本文化研究Ⅱ」授業）

人文学部

大好評のNHK TV
イ・ユニ（李允希）教授のハンゲル講座



李先生は二〇〇二年からラジオ講座を担当され、非常に聴取率が高かったためTV講座が放映されることになりました。

なんとテキストの増刷が追いつかない、テキスト販売は語学番組としては初めて四

この番組の大成功の秘密を探ると

①李先生が開発された特別な発音教授法を用い、韓国語習得のため最大の難関である正確な発音が習得できるよう意図されています。

②李先生はラジオ番組の経験を生かし、視覚的な工夫をこらしています。

③学習のポイントとなる部分を画面に出す際の工夫をはじめ、ラジオ番組では考えられない程の準備、配慮が必要で

④また語学番組としては初めての試み、視聴者参加型の双方向の番組を実現しています。毎月末にはスタジオを飛び出して、ロケ地まで移動して直接視聴者の発音をクリニックしています。

特徴ある番組を作るために多くのスタッフが睡眠不足と戦いながら頑張っ

李先生は二〇〇二年からラジオ講座を担当され、非常に聴取率が高かったためTV講座が放映されることになりました。

なんとテキストの増刷が追いつかない、テキスト販売は語学番組としては初めて四

この番組の大成功の秘密を探ると

①李先生が開発された特別な発音教授法を用い、韓国語習得のため最大の難関である正確な発音が習得できるよう意図されています。

②李先生はラジオ番組の経験を生かし、視覚的な工夫をこらしています。

③学習のポイントとなる部分を画面に出す際の工夫をはじめ、ラジオ番組では考えられない程の準備、配慮が必要で

④また語学番組としては初めての試み、視聴者参加型の双方向の番組を実現しています。毎月末にはスタジオを飛び出して、ロケ地まで移動して直接視聴者の発音をクリニックしています。

特徴ある番組を作るために多くのスタッフが睡眠不足と戦いながら頑張っ

④若い世代に関心を持てるように、豊富な現地ロケを行い、ホットな韓国の社会事情や教育事情、観光産業などの文化面の紹介にも注力した新企画の語学番組、それも大成功の一因のようです。

⑤毎月のテキスト作成に最も時間をかけておられます。普通に文字だけで情報を伝達する書物の執筆と異なり、制作担当者スタッフとのきめ細かい打ち合わせに李先生は忙殺されているようです。

李先生は「今後も韓国を知るための分かりやすい・楽しい放送や授業を目指したい。また本学で直接発音クリニックを受けられる時間を設けて、少しでも本学に関心を持つ方が増えるように努力していきたい」と意欲を燃やされています。皆さまもぜひ毎週火曜日午後十一時三〇分（再放送日曜日午前六時）NHK TVをご覧ください。

NHK テレビ7
テレビでハンゲル講座
한글

イ・ユニ 李允希 心斎橋校
東京成徳大学 人文学部 教授

放送時間：毎週火曜日午後11時30分（再放送日曜日午前6時）
NHK TVををご覧ください。

子ども学部

「子ども学部」とは (リレー連載④)

子ども学部小学校免許プログラムについて

小学校免許プログラム運営委員

准教授 富山 尚子



子ども学部の小学校免許プログラムでは、玉川大学との連携により、必要単位を修得することで、在学中に小学校教諭二種免許状が取得できる。このプログラムによって免許を取得した子ども学部一学期のうち六名が、すでにこの四月から小学校の現場で活躍している。

このプログラムでは、三年次および四年次の二年間で履修が行われ、単位の読み替えによって、個人で小学校教員免許の取得を目指す場合と比べて負担は軽減されている。加えて、子ども学部では小

学校免許プログラム運営委員会が組織され、履修の相談から小学校での教育実習など、さまざまな指導にあたっている。さらに、三年次に所定の単位の履修を完了したこのプログラムの履修生には、四年次において玉川大学への納付金相当額(実習費を除く)が本学から奨学金として交付されることになっている。

とはいえ、在学中に子ども学部の授業に加えて、玉川大学との連携プログラムを履修して、単位を修得していくのは簡単なことではない。小学校での教育実習も必要になる。しかし、入学時から小学校免許の取得に興味を持っていた学生、一年次や二年次の子どもの学部での授業や実習を通して小学校教育に興味を持った学生など、熱心に取り組もうとする学生は多い。今年度の三年生も約一〇〇名のうち二十名以上が履修を希望し、最終的に履修を許可された十名が、現在免許取得に向けてプログラムに取り組んでいる。小学校教員の需要の急増期と重なることもあり、本学部卒業生のこの分野での活躍も期待されます。

短期大学

スポーツフェスティバル開催

学内の芝生広場は大好評

教授・学生部長 秋山 秀一

五月二十四日(土)やや曇り空の下、今年度初めて、十条台キャンパス内の芝生の広場で、短大のスポーツフェスティバルが開催された。

春五月、年に一度全学年をあげて実施されてきた大事なスポーツイベント。今年初めて学内の芝生の広場で行う、とあって、不安視する向きもあったが、終わってみれば、「来年もここでやればいいんじゃない」との声がいくつも...

全学科、学年が、赤・白・黄・

青の四つのチームに分かれ、クラスごとにオリジナルデザインのTシャツを着て、全員参加をモットーに、競技に、応援に、大いに盛り上がった。

競技も、玉入れ、キャタピラー、デカバンリレー、障害物リレー、台風の目、ビーチラッグなど、競技をするものも、見ているものも、共に楽しめるように、と工夫した内容だった。木陰で友達同士車座になって、談笑しながら弁当を食べる姿もあれば、中には、芝生の上でごろ寝もと、競技をするもの、応援するもの他にもそれぞれに楽しい一日だったようである。

絆々青春のページ目々

スポーツフェスティバル実行委員長

下地 茜

「平成二十年度スポーツフェスティバルは学校内の芝生で行います。」
この言葉を耳にした時、学生の皆さんや先生方はどう感じたでしょうか。

「運動が得意な人はもちろん、苦手な人も楽しめて、見ている人も一緒に盛り上げられる競技にしよう。限られた範囲だからこそ、移動量も最小限におさえられて、学生も参加しやすいよね。」実は、このような桐友会の思いが今回のスポーツフェスティバルには込められていました。

反省点はたくさんありますが、たくさん学生の笑顔を見られた事や新しい事に挑戦し一つのものを作り上げていった経験は、私自身にとってもテーマ通りの「絆々青春のページ目々」となりました。

ご協力いただいた先生方、桐友会役員、学生の皆さん、本当にありがとうございます。



中高一貫部

体育祭

大成功だった体育祭

生徒会長 六年二組 隆矢 徹

今年の体育祭は天候不順のため実施が予定より三週間も延びてしまい、みんなのやる気が削がれてしまうのではないかと心配してしまいました。ですが、先生方のご協力もあり、六年生を中心に全員が頑張ってくれました。今年の体育祭は大成功だったと思います。素晴らしい体育祭になり感動しました。体育祭に関わってくれたみなさん、本当にありがとうございました。そして、お疲れさまでした。今回の体育祭を教訓にして、来年はさらに良いものになるよう後輩のみなさんには頑張ってもらいたいと期待しています。



梅雨空のもとで・・・

体育祭実行委員長 六年三組 増田 芳弘

あれは、ガソリンや穀物の価格高騰への憤り、増加する一方の殺人事件に象徴される治安悪化に対する不安、社会全般への漠然とした疑念、雨に弄ばれる順延続きの体育祭への萎えた気持ちなどを一蹴してくれるようなとても天候に恵まれた一日の出来事であった。実行委員会も、存在していても活動停止状態のようなもので準備に關しては先生方に苦勞をかけてしまった。来年は参加できないのかと思うとやりきれない気持ちで一杯になる。理想的な体育祭に向け、後のことは後輩に託したい。



体育祭の総括

学年委員行事担当 四年一組 石井 孝明

二度ある事は三度ある、と言われた雨天はようやく快晴になり、僕達に微笑みました。そんな天気の上で今回の体育祭はより盛り上がりが見えました。中でも団対抗リレーでは四団に加え先生とOBの先輩と駆けつけた教育実習生のドリムチームが参加し大いに場を沸かせました。皆さんよく頑張りました。そしてお疲れ様でした！



中高一貫部体育祭

三年四組 池田 裕紀

二回の延期があり今年の体育祭はどうなってしまうのか不安でしたが、やっと体育祭が開催され、青空の下で、誰もがそれまで溜まっていたものを、一気に吐き出したように感じられました。僕は騎馬戦に出場し優勝することができました。また、団も優勝でき、今までで一番の体育祭になりました。





体育祭実行委員長 三年K組 今村 亜美

今年の体育祭の生徒会に於ける目標は「いかに去年より盛り上げるか」でした。それを達成するために去年までと違うことを試みようとして昨年度から準備を進めてきました。各係との伝達・連絡不足から失敗もありましたが、最終的に無事体育祭を終えることができましたのは皆様のご協力があったからこそです。ありがとうございます。

生徒会会長 三年G組 村井 優

僕の公約は「行事を盛り上げる」でした。この公約を果たすため今年の体育祭は盛り上げに徹しました。その結果、生徒の皆さんと先生方、観客の皆様が一丸となり盛り上がった素晴らしい体育祭にすることができました。本当にありがとうございます。

生徒会副会長兼門制作係 三年E組 眞嶋 小百合

今年の体育祭は入退場門を設置しました。設計、組み立ても生徒会が行い大変でしたが制作は楽しいひとときでした。本番では昨年よりも体育祭らしく良かったと思えました。

野中 修也

東京成徳高等部は、建学の精神に基づき、三つの柱を活動目標として打ち立てている。そのひとつに「自分を深める学習」がある。今回の教員研修では、その理念の再確認と、授業内容、授業方法の方向性や問題点を議論し、広く、教育活動全体を通して、先生方一人一人がその精神のもとに、どのように指導してゆべきかを検討する、という目的で行われた。

現在、「自分を深める学習」の授業は、一、二年生時に週一単位で行われ、四人の教員でそれを担当している（荒井、外丸、福本、野中）。今回の研修に先立って、一年生六クラスを担当している野中の授業を、全先生に見学してもらった。

今回、先生方に見学していた授業は、この学習の中核テーマともいえる「つながり」をキーワードに、この世で「自分とつながっているものは何か？」をグループで考え、なぜそう思うのかを、質問を受ける、という内容で行った。「つながり」というキーワードの意味が大きく膨らみ、「私は宇宙とつながっている」という壮大な意見も多数出てきた。グループによってはおチャラけたつながりも出てきて笑いを誘う場面もあった。

た。その授業の感想、意見をアンケートとして先生方に提出していただいた。また、生徒達には授業内容について、感想を提出してもらった。その先生方、生徒達の真剣な感想意見に触れ、私は深い感銘を覚えた。

研修会は、私が「理念」について説明し、荒井先生から「自分を深める学習」の基本的な取り組みを紹介していただいた後、野中の授業実践の自身について議論する、という段取りで行われた。今回の研修が実りあるものであったかどうかは、今後、生徒達が「答え」を出してくれるであろう。



深谷高校

体育祭

体育祭運営委員長

三年C組 小川 由真奈

体育祭前日は雨が降っていて、明日はどうなるんだろうと思っていました。当日は雨も止み曇りの中体育祭が行われました。

そして開会の言葉や選手宣誓が終わり、元気に準備体操をやり、ついに競技が始まりました。綱引きでは、小柄な人も大柄な人も一生懸命綱をグイグイ引いていました。短距離走では、コースの周り

にたくさんの方が集まって、みんな自分のクラスの子を大声で応援していました。そして先生方や保護者の方がたも、肌寒い中一生懸命応援してくれました。それぞれのクラスが一致団結して、どの競技もとても盛り上がりました。

そして成績発表。優勝したクラスもあれば優勝出来なかったクラスもありましたが、みんな頑張った結果なので、いい思い出として残ると思います。



幼稚園

手話を楽しく学びやわしく思いやる気持ち育てる

今情報は錯綜した皆さんの知識は得られるものの、反面人とのコミュニケーションが苦手であるといわれています。

成徳幼稚園では、手話を通して障害者や弱者に対しての優しさや思いやりを持ってもらおうと子供たちに手話の指導を行い十年たちました。

手話には一つ一つ大切な意味が込められていて丁寧にわかりやすく歌や遊びを通して覚えます。しかし決して遊びだけでなく正しく覚えることが大事と職員も専門の先生方にご指導いただき子供たちにも伝えられる

ように、身近にある表現から取り組んでいます。

今では各クラスが目標を持ち、さらには自分の名前や日常の事を指文字に挑戦し、手話を交えての会話も出来るようになっていきます。

卒園式では手話曲「そしておめでとう」を全員で披露します。♪「おめでとうのあの朝、おかさんの後ろにかくれて泣いていた。あの子は今・・」と歌い始めると。保護者のすすり泣く声があちらこちらから聞こえ、感動的なクライマックスとなります。

第二幼稚園

水慣れ水泳教室

第二幼稚園では、近隣のスイミングスクールと提携することにより、毎年春四回、秋二回の水泳教室を行っています。今年の春も年中組・年長組が水泳教室を楽しみました。

水泳教室では、子どもたちの実態に合わせてグループ編成をし、それぞれにコーチがついて楽しくスイミングができるように工夫しています。子どもたちは何日も前からこの水泳教室が始まるのを楽しみにしていて、指折り教えてその日を待っています。なかには水

が怖くて涙が出てしまう子どももいますが、それでもお友達と一緒に頑張っていくうちに笑顔が出てスイミングを楽しむようになりました。

今年の水泳教室でも、ヘルパーやビート板を使って泳ぐグループ、水しぶきを上げ、ゲームなどをして水遊びを楽しむグループなど、それぞれのグループで子ども達は歓声を上げながら楽しんでいました。



幼稚園

新宿御苑で探検隊!!

指折り数え、楽しみにしていた春の遠足、緑あふれる御苑は都心であることを忘れさせるほど沢山の大きな美しい花々が園児を迎えてくれます。ふわふわした芝生の感触に「おふとんみたいにやわらかい!」、「あの葉っぱ、顔よりも大きいよ!」、木陰では「木のトネルみたい!涼しいね!」と様々な発見が目キラキラの園児たち。青空の下で、自然に触れながら愛情たっぷりの手作り弁当をほおばる笑顔も印象的、心が豊かになった春の遠足でした。

第二幼稚園

親子遠足

去る六月二日、年少、年中組の親子遠足が与野公園で行われました。当日は、子どもたちの願いが届き、絶好の遠足日和となりました。

公園では、シールラリーとフォークダンスを行いました。シールラリーでは、広々とした公園の中、大木の陰など、四カ所に隠れている先生を親子で探し探す姿が見られました。ゴールでは、ご褒美のシールを貼ってもらい、子どもたちは達成感の喜びに溢れていました。シールラリーの後は、親子全員で一つの輪になり、「おどるポンポコリン」



などのフォークダンスをしました。子どもたちは、家の人や友達とたくさん触れ合いながら、のびのびとした一日を過ごしました。



クラブ活動の成果

平成20年度関東高等学校女子バスケットボール選手権大会を終えて



高等学校 女子バスケットボール部顧問 下坂 須美子

今年度の関東大会を7年連続優勝で終えて、東京都のインターハイ予選で優勝すればインターハイ第2シードを取れるところまで来ました。

昨年度はインターハイ・国体・ウィンターカップと3回も同じ相手に負け、とても悔しい思いをしました。今年度のチームは昨年からのスタートメンバーが多く残り、今年こそはと思っていたのですが、4月17日の練習でディフェンスの要と走りの要にした3年生の選手が怪我により長期戦線離脱し、戦力は落ちてしまいましたが、昨年の雪辱を晴らそうと部員全員(32名)で「無限なる努力」のモットーで日々の練習を頑張っています。

今年度のインターハイはお隣の埼玉県本庄市(女子のみ、男子バスケットボールは深谷市)で行われます。全国の頂点を目指して頑張りますのでぜひ応援にいらしてください!

8年ぶりの初戦突破



高等学校 女子ソフトボール部主将 3年A組 森 千穂

本校女子ソフトボール部は、現在中学3年生6名、高校1年生10名、2年生2名、3年生5名、合計23名で活動しています。ここ近年は部員数の減少に伴い高体連主催の大会に勝利する事ができませんでした。今年度は1年生が10名入部し、以前の活気あるソフトボール部に戻りました。監督、選手一同久しぶりの大会での勝利を目標に、日夜練習に励んでいます。

4月20日に行われた関東大会東京都予選では、大東文化第一高校と対戦して4対12で敗れました。敗れはしましたが、3回まではリードし次の大会につながる試合内容でした。

5月18日に行われた高校総体東京都予選は、文大杉並高校との対戦でした。前半から終始リードする形で、13対3で勝利することができました。この勝利は8年ぶりの高体連主

催の大会での勝利という事で部員全員が自信になりました。続く試合は都立北園高校に敗れはしましたが、私達女子ソフトボール部にとっては勝つことの喜び、負けた時の悔しさを一日で経験できた素晴らしい一日でした。今後は7月にある私学大会、城北大会をはじめ数多くの大会に参加し、一つでも多く勝ち進みたいと思います。

試合の度に引率をしてくださった水村先生、応援に来てくださった先生方や保護者の方々に感謝の気持ちを忘れる事なく今後活動していきたいと思っています。

創部10年、今や最激戦埼玉県の一流強豪チームに



深谷高等学校 野球部

平成8年から特別進学コースで男子生徒の募集をはじめた本校は、県北の進学校のため、当初の選手は無名の選手ばかりでした。しかし監督の泉名先生は情熱を注いで選手を育成してきました。高校生の時は野球部の主力選手として活躍されていた大澤校長も驚くほどの練習熱心。監督の卓越した指導力で昨年春の大会では埼玉県で160を超える加盟校の内、ベスト8という快挙をなしとげました。今春の大会ではシード校である強豪浦和学院との戦いに惜しくも延長戦でサヨナラ負けはしましたが、その粘り強さは称賛に値するものでした。マスコミに取り上げられる回数も多くなり、それだけに選手のプレッシャーも大きいと思われませんが、小林主将を中心とするチームの士気は高く、第90回を迎える全国高校野球選手権記念大会甲子園出場をめざし日夜練習に励んでいます。今後さらなる飛躍が期待されるチームです。

学園役員紹介

平成二十年七月一日現在の役員は左記の通りです。

役員構成は左の通りです。

- 理事長 木内秀俊
 - 常務理事 木内秀樹
 - 理事 大澤健
 - 理事 國分孝
 - 理事 黒田定男
 - 理事 佐々木富也
 - 理事 中里明彦
 - 理事 下山武士
 - 理事 黒崎康夫
 - 理事 中田カヨ子
 - 理事 青木重
 - 理事 加々美健一
 - 理事 石山賢
 - 理事 津島節子
 - 理事 三上令子
 - 理事 深谷昌志
 - 理事 渡辺千仞
 - 理事 菅澤喜八郎
- (○印の方は評議員も業務です)

学園後援会総会開催される

六月二十一日、学園中高一貫部において総会が開催され、佐々木富也会長はじめ後援会の方々、学園からは木内理事長・木内常務理事が出席しました。

総会の議事は滞りなく進行し、閉会后に人文学部李允希(イ・ユニ)教授の「三十分で通じる韓国語」という講演があり、タイムリーな企画だけに大好評でした。

平成二十年役員は左記の通りです。

- 名譽会長 木内秀俊
- 顧問 下山武士
- 顧問 大野林太郎
- 顧問 水野昭平
- 顧問 荒井千恵子
- 会長 佐々木富也
- 副会長 金澤清一
- 副会長 藪崎千恵子
- 副会長 三上令子
- 副会長 吉澤良彌
- 副会長 大村豊樹
- 副会長 遠藤洋子
- 副会長 川北水江
- 副会長 太鼓地由美子
- 副会長 並木智恵子
- 副会長 依田貴美子
- 副会長 星和子
- 副会長 佐藤秀子
- 副会長 神崎敬治

学校法人東京成徳学園 平成19年度決算

資金収支計算書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位:千円)

収入の部	金額
学生生徒等納付金収入	4,103,052
手数料収入	128,956
寄付金収入	37,757
補助金収入	1,488,246
資産運用収入	32,304
資産売却収入	101,478
事業収入	9,379
雑収入	275,434
借入金等収入	400
前受金収入	998,423
その他の収入	522,340
資金収入調整勘定	△1,329,094
前年度繰越支払資金	2,179,331
収入の部合計	8,548,006
支出の部	金額
人件費支出	3,946,059
教育研究経費支出	1,062,209
管理経費支出	375,521
借入金等利息支出	66,109
借入金等返済支出	278,970
施設関係支出	188,293
設備関係支出	56,151
資産運用支出	197,513
その他の支出	154,386
資金支出調整勘定	△298,870
次年度繰越支払資金	2,521,665
支出の部合計	8,548,006

消費収支計算書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位:千円)

消費収入の部	金額
学生生徒等納付金	4,103,052
手数料	128,956
寄付金	39,914
補助金	1,488,246
資産運用収入	32,304
資産売却差額	213
事業収入	9,379
雑収入	275,434
帰属収入合計	6,077,498
基本金組入額合計	△515,451
消費収入の部合計	5,562,047
消費支出の部	金額
人件費	3,947,926
教育研究経費	1,838,219
管理経費	462,159
借入金等利息	66,109
資産処分差額	39,046
徴収不能額	29,240
消費支出の部合計	6,382,699
当年度消費支出超過額	820,652
前年度繰越消費支出超過額	5,194,385
翌年度繰越消費支出超過額	6,015,037

貸借対照表

(平成20年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部	金額
固定資産	45,480,284
有形固定資産	41,303,633
その他の固定資産	4,176,651
流動資産	3,048,339
資産の部合計	48,528,623
負債の部	金額
固定負債	894,122
流動負債	1,810,035
負債の部合計	2,704,157
基本金の部	金額
基本金	51,839,503
消費収支差額の部	金額
翌年度繰越消費支出超過額	6,015,037
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	48,528,623

鎌田正前理事 逝去

本学園前理事の鎌田正先生は、平成二十年六月十三日（金）、虚血性心不全のため永眠されました。福島県相馬市のご出身、享年九十七歳。六月十八日、十九日に東京都文京区、護国寺桂昌殿で行われた通夜・告別式には、千人を超す弔問客が故人の急逝を悼み、別れを惜しまれました。

鎌田正前理事は漢文学者として、恩師諸橋轍次先生著・世界一の「大漢和辞典」の編集・修訂業務に携わること七〇年、論文「左伝の成立と其の展開」で学位を授与されています。平成十三年十二月皇太子殿下ご長女ご生誕の時、御名・御称号案上申の勘申者を委嘱されています。昭和四十九年に東京教育大学名誉教授、平成八年に東京成徳短期大学名誉教授の称号を授与されています。



弔辞

東京成徳学園を代表して、謹んで鎌田正先生のご霊前にお別れのことばを申し上げます。先生が奥様を亡くされてから体調を崩されたとお聞きし心配いたしました。同窓会でお会いした際、このたびの逝去の報は思いもよらぬこととございました。

先生は、昭和四十九年東京教育大学を退官後、縁あって前理事長木内四郎兵衛の懇請を受け、早稲田大学からの招聘のある中、東京成徳短期大学に着任されました。その後大学にあっては国文科長・副学長を務められた他、学園では三十一年の長きに亘り理事を務めていただきました。先生は「大漢和辞典」の修訂事業により高名な碩学ですが、本学園の十条台キャンパス図書館に学問・修養上の基本となる「一つの事に専念して心を他に向けない」という「主一無適」という言葉を揮毫していただきました。先生の学問への姿勢を我々にお示しになったものであり、今後とも学園の学風に生かして行く所存でございます。個人として思い起こすのは先生が、東京教育大学時代に附属校の校長をなさっていたこともあり、附属出身の私とは共通する話題もあつて可愛がっていただき、いつも和やかに楽しいお話しのお相手を務めさせて頂いたことを思い起こしております。

特に、現在の十条台キャンパスの土地の買い増しにあたっては、若輩者の私を引き連れ東奔西走、鹿島建設の石川六郎会長様を始め関係各方面に面会・要請を熱心に行っていたのであります。今日十条台キャンパスは、短期大学の他に東京成徳大学子ども学部が設置されており、来春には経営学部が設置される予定であるなど、学園内の高等教育の拠点としてこれからも着実に充実が図られると存じます。これもひとえに先生のお力によるものであります。

平成二十年六月十八日

学校法人 東京成徳学園
理事長 木内秀俊

杉原研究科長 逝去

本大学院心理学研究科長、学園理事の杉原一昭先生におかれましては、四月下旬から入院治療中のところ、去る六月九日（月）、ご逝去になりました。享年七十歳。

杉原先生は、筑波大学前身の東京教育大学教育学部心理学科を卒業後、横浜国立大学講師、同助教授を経て、筑波大学において助教授、教授、心理学研究科長、心理学系長、学校教育部部長、評議員等を歴任後、平成十三年四月、本大学院心理学研究科長に就任されました。

その間、臨床心理士第一種指定校認可、博士後期課程設置等、大学院の充実発展に尽くされました。専門は、生涯発達心理学、学校心理学、教育心理学。

弔辞

謹んで、杉原一昭先生に最後のお別れのご挨拶をいたします。

杉原先生には、まだまだお元気で学生の指導や大学の運営に、お力を発揮してくださいと信じておりましたのに、残念でなりません。人の



命に限りがあることはこの世の鉄則ではありませんが、私たちの眼は悲しみに曇り、心は悲哀に閉ざされています。その悲しみを抑え、いまここに大勢の友人や教え子が、先生の教えを胸に抱き、先生の永久の安息をお祈りするために集まっています。

先生の晩年のご尊顔を思い起こすと、白髪の間で御ひげが老賢者の風骨を漂わせ、眼鏡の奥の慈愛に満ちた眼差しが、児童心理学者としての自己表現を表わしておいででした。

先生は一九三八年福島県田島市に生まれ、一九五七年東京教育大学心理学科に入学され、心理学の道に入られました。一九六一年には大学院に進まれ、勤勉な努力家ぶり示しただけではなく、新しい心理学に果敢に挑戦され、大学院生のときすでに、当時はまだ新しかった行動療法の理論的考察を発表されました。また、生理心理学にも関心をもち、夏休みの合宿でHeldの Physiological Psychology を一冊読み通すのに、私も、お付き合いましたことを思い出します。

一九八四年には児童の思考の研究で教育学博士を取得されました。この論文は子どもの思考パタンの分析に抽象代数学の環論を援用した極めて斬新なものでした。このような進取の気性は二〇〇一年に筑波大学を退官され東京成徳大学に移られてからも変わらず、心理学の新しい潮流であるポジティブ心理学や現象学的心理学的にも挑戦され、院生の論文指導にも生かされておりました。先生のおられたことで、東京成徳の大学院はどれほど輝いたことでしょうか。

杉原先生はまた、教えることが大好きでありました。大学院時代から研究会を組織し、学部学生を指導しておられました。筑波の宿舎では、頻りに焼肉パーティーが催されていたようです。杉原先生、横浜国立大学、筑波大学、東京成徳大学の教え子たちがいまここに、ご遺族やご友人たちとともに、先生のご遺影をみつめて、先生を想っております。

そして、先生が神の光に包まれて、永久の安息を与えられますようにと、祈っております。

平成二十年六月十六日

東京成徳大学 応用心理学部
学部長 市村操一

一般入試の入試日程などはホームページで詳細を



SEITOKU BRASS 第6回定期演奏会 於さくらめいと太陽のホール (深谷高等学校)

学校法人 **東京成徳学園** <http://www.tokyoseitoku.ac.jp>

東京成徳大学大学院	http://www.tsu.ac.jp/gra (pc) office-gra@tsu.ac.jp (e-mail)	電話03-3927-4116
東京成徳大学	http://www.tsu.ac.jp (pc) http://www.tsu-mobile.com (携帯サイト)	
人文学部 応用心理学部 子ども学部	八千代キャンパス入試・広報センター 十条台キャンパス入学課	電話047-488-1000 (直通) 電話03-3908-4566 (直通)
東京成徳短期大学	http://www.tsc.ac.jp 十条台キャンパス入学課	電話03-3908-4566 (直通)
東京成徳大学中学・高等学校 中高一貫部 高等部	http://www.tokyoseitoku.jp/hs	電話03-3911-2786 電話03-3911-5196
東京成徳大学深谷高等学校	http://www.tsfh.jp	電話048-571-1303
東京成徳短期大学附属幼稚園	http://www.tokyoseitoku.ac.jp/t-kind	電話03-3911-6337
東京成徳短期大学附属第二幼稚園	http://www.tokyoseitoku.ac.jp/y-kind	電話048-854-2151
東京成徳スイミングスクール		電話03-3914-2383
学外施設戸隠グリーン		電話026-254-2662

学校法人 東京成徳学園
法人本部企画調査室

〒114-8526 東京都北区豊島8-26-9 TEL 03-3911-2411 FAX 03-3911-6500
東京成徳広報 第24号 平成20年7月発行